

問1 エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、事故防止、経営コスト削減など、「環境」「安全」「経営」の3つの効果を期待するものである。

問2 SDGs（エスディージーズ）は、国際社会が2030年までに、先進国から途上国までが普遍的に取り組む世界共通の物差しであり、貧困の撲滅や気候変動等の幅広い課題を解決し、持続可能な社会を実現するための重要な指針とされている。


問3 事業者は、点呼時に酒気帯びの有無を確認する場合には、運転者の状態を目視等で確認することとなっているが、営業所に備えられているアルコール検知器が故障して使用できない場合は、点呼執行者の目視による酒気帯びの有無の確認を受ければ乗務することができる。

問4 一般貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運行の安全を確保するために行う初任運転者に対する特別指導は、当該事業者において初めてトラックに乗務する前に実施することとなっているが、やむを得ない事情がある場合には、乗務を開始した後3か月以内に実施しなければならない。

問5 60歳以上の運転者については、国土交通大臣が認定する機関による国土交通大臣が告示で定める高齢者の適性診断（適齢診断）を受診しなければならない。

問6 常時使用する労働者に対して、医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するための検査（ストレスチェック）結果は、検査を実施した医師、保健師等から直接本人に通知され、本人の同意なく事業者には提供することは禁止されている。

問7 睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が止まった状態が継続的に繰り返される病気で、睡眠不足から運転中に強い眠気を感じる状態になることから、運転の仕事が続けていくためには、早期に医師の治療を受けることが不可欠である。

問8  「安全性優良事業所」認定の対象となるのは事業所単位ではなく、会社単位となっており、認定期間は2年間から最長4年間である。



問9 ドライブレコーダーは、自動車の運行中、運転者の視点から自車と周辺情報を記録するもので、交通事故や急ブレーキ、急ハンドルなどにより当該自動車が一定以上の衝撃を受けると、衝突前と衝突後の前後10数秒間の映像などを自動的に保存する装置であり、自動車事故を未然に防止する有効な手段の一つとして活用されている。

- 問 1 0 車両総重量 8 トン以上又は最大積載量 5 トン以上のトラックに乗務した場合、荷主の都合により、荷待ち等で 1 5 分以上待機したときは乗務記録に記録しなければならない。
- 問 1 1 夜間走行中、自分の車と対向車のライトで、道路の中央付近の歩行者が見えなくなることを蒸発現象という。
- 問 1 2 自動車の速度が速くなるほど、運転者の視野は狭くなり、遠くを注視するようになるため、近くは見えにくくなる。
- 問 1 3 後方の状況を確認するためにシートベルトをはずして後退すれば、その後シートベルトを再装着して前進しても、シートベルト装着義務違反となる。
- 問 1 4 貨物の積卸しのための停止で 1 0 分以内のものは駐車にはならない。
- 問 1 5 法定の駐車の方法に従い駐車する場合に、車の右側に 3. 5 メートル以上の余地がなくなる場所での駐車は禁止されているが、貨物の積卸しで運転者がすぐに運転できる状態にあるときは、駐車することができる。
- 問 1 6 赤信号や危険防止のために一時停止する場合などは別として、交差点とその端から 1 0 メートル以内の場所では、駐車も停車もしてはならない。
- 問 1 7 酒気帯び運転とは、呼気 1 リットル中 0. 1 5 ミリグラム以上、又は血液 1 ミリリットル中 0. 5 ミリグラム以上のアルコールを体内に保有している状態で車両を運転した場合をいう。
- 問 1 8 車両等に積載している物が道路に転落し、又は飛散したときは、必ず道路管理者に通報しなければならないが、当該道路管理者からの指示があるまでは、転落し、又は飛散した物を勝手に除去してはならない。
- 問 1 9 右左折するときは、右左折する 3 秒前に合図をしなければならない。
- 問 2 0 高速自動車国道を時速 8 0 キロメートルで走行中、3 秒間わき見運転した場合の走行距離は 6 6. 6 メートルである。
- 問 2 1 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1 日 1 回、運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

- 問 2 2 事業用自動車の定期点検整備は、国土交通省令で定める技術上の基準により、1 か月、3 か月、1 2 か月ごとに行わなければならない。
- 問 2 3 運転者が危険な状態を認めてからブレーキをかけ、ブレーキが効き始めるまでには1 秒くらいかかると言われ、これを反応時間という。
- 問 2 4 走行中にアクセルペダルから足をはなすと、エンジンの回転がおそくなり、逆に、車輪がエンジンをまわそうとする状態になる。このときエンジンは摩擦や圧縮の抵抗により車輪を制動する働きをする。これをエンジnbrakeという。
- 問 2 5 自動車衝突した時の衝撃力は、速度が2 倍になれば衝撃力は2 倍になる。
- 問 2 6 車両総重量が8 トン以上又は最大積載量が5 トン以上の普通自動車である事業用自動車は、運行記録計の装着が義務付けられている。
- 問 2 7 自動車がハンドルを切って右左折するときやバックするとき、後輪は前輪より内側を通る。
- 問 2 8 スピードリミッターとは、アクセルを踏んでも時速1 0 0 km以上は出せなくする速度抑制装置のことであり、速度が時速1 0 0 kmを超えると自動的にエンジンへの燃料供給が抑制され、それ以上加速できない仕組みとなっている。
- 問 2 9 先進安全自動車（A S V）とは、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車で、A S V技術には衝突被害軽減ブレーキ、ふらつき注意喚起装置、車線逸脱警報装置等がある。
- 問 3 0 雨の降り始めに、路面の油や土砂などの微粒子が雨と混じって滑りやすい膜を形成するため、タイヤと路面との摩擦係数が低下し急ブレーキをかけたときなどにスリップすることを「ハイドロプレーニング現象」という。